

令和 6 年度西成特区構想エリアマネジメント協議会
第 1 回環境健康専門部会 議事要旨

1 日 時 令和 6 年 10 月 1 日（火） 午後 6 時 30 分から午後 7 時 40 分まで

2 場 所 西成区役所 4 階会議室 4－5 会議室

3 出席者

（有識者）

垣田大阪公立大学大学院教授

白波瀬関西学院大学教授

（行政関係者）

【西成区】

北野市民協働課長、浅野地域支援担当課長、
鶴見保健担当課長

【環境局】

吉村事業管理課長、
今津南部環境事業センター事業推進担当課長

【建設局】

西尾津守工営所事務総括担当課長

【事務局（西成区）】

石田総合企画課長、竹内総合企画課長代理

（地域メンバー）

【梅南地域】

山上連合振興町会長

【岸里】

松岡連合振興町会長、中嶋第 10 振興町会長

（オブザーバー）

西成警察署

4 議題及び要旨

（1）不法投棄ごみ対策について

- ・西成区役所市民協働課より、資料に基づいて、西成区における現況と取り組みについての説明が行われた。

＜地域メンバーの意見＞

- ・ごみの出し方が分からない方もおられるので、啓発用チラシなどで周知する必要がある。複数回のポスティングや対面での呼び掛けも有効だと思われる。猫やカラスにあらされるのでその対策も必要となる。
- ・近隣同士の間柄では直接注意しづらい。ごみ出しルールについて行政から啓発してもらって順守されたケースがあった。このように、行政から伝えてもらえると助かる。
- ・外国の方にもごみ出しルールが伝わるように周知するには工夫が必要である。ただし、外国の方は入れ替わりが多く、ルールが浸透しにくい。
- ・不法投棄がさらなる不法投棄を招くこととなる。発見次第早めに対策をすることが大切である。
- ・人の目があると抑止力になるので、対策として防犯カメラの設置が有効である。

西成区地域安全防犯カメラ設置補助金の1回10万円、地域ごとに年2回の上限を見直していただけると助かる。

- ・建物を取り壊された更地に不法投棄をされるので、ロープを一本張るだけでも不法投棄されにくくなる。
- ・30年前に比べるとあいりん地域も改善しているし、西成区でも全体的に不法投棄は減ってきていると感じている。以前は家庭ごみの出し方も守られていないことが多かった。

< 定点観測について >

- ・日中のパトロールの中で、一定その場所に留まって傾向をつかんだうえで、呼び掛けやお声掛けなどできることがあると思われる。現地での対策によりひとつでも多く改善事例をあげたい。(西成区)

< 空地（民有地）への不法投棄について >

- ・具体的には、区役所と連携して地権者に文書を送りたいと考えている。内容は、現状をお知らせするというもので、期限までに連絡をいただきたいということ添えることとなる。ご連絡をいただけたらコミュニケーションのきっかけになる。(環境局)
- ・地権者であっても、処分費用が掛かるため対応していただくことは難しいと思われる。近隣への影響もあるので、コミュニケーションを図り対応していきたい。(西成区)

(2) 西成区の結核対策について

- ・西成区役所保健担当より、資料に基づいて、これまでの対策等に関する説明が行われた。

5 会議資料

- (1) 環境健康専門部会出席者名簿
- (2) 西成区における不法投棄対策について
- (3) 西成区の結核対策について